

おいしさ、ふれあい。  
**プリマハム**



**「スムーズな操作性、多機能性を高く評価しています。  
直感的で使いやすいため、システム部門への問合せ件数が少なくなりました！」**

プリマハム株式会社 情報システム部  
管理課 課長 伊藤 浩二様

**導入前の課題**

- ・操作性の悪さを指摘する声が多かった。
- ・メールボックスの容量が小さく、すぐパンク状態になった。
- ・メールサーバの管理に人手がかかっていた。



**導入後の効果**

- ・使い勝手が良くなり、不満の声も減った。
- ・メールボックスが大容量になり、データの大きなメールも保存できるようになった。
- ・メール管理をアウトソースすることで、管理の手間、人手の抑制ができた。

**■ 導入の背景**

**従来の Web メールは使い勝手が悪かった**

「プリマハム様の事業概要を教えてくださいませんか？」

弊社は食肉、ハム・ソーセージ、加工食品などの食肉関連商品を製造し、量販店、コンビニエンスストア、外食産業、食肉店などに販売しています。2012年3月期の売上高は2,712億円(連結)です。

「その中で、情報システム部はどのような業務を担当しているのでしょうか？」

食肉・生産・物流・営業などの各部門で用いられる社内システムの調達、運用、保守などを担当しています。以前は、ゼロからシステムを組み上げたりしていましたが、今後は導入のスピード化を図るためパッケージ商品等を調達するケースが増えていくと思われます。

「今回 CYBERMAILΣを導入する以前は、どのようなメールの環境だったのでしょうか？」

オンプレミスのグループウェアに付随するメールを使用していました。導入したのは1998年で、その後2004年に、グループウェアをバージョンアップ、メール環境も、その時点でブラウザで閲覧・操作するWebメールになりました。

メールサーバをコンピュータセンターに置いて一元管理できるようになったのはシステム部門としては良かったのですが、操作面で少々使い勝手が悪いという社内評価が出てしまったのは残念なことでした。

**■ 導入の経緯**

**メールボックスの容量が小さ過ぎた**

「CYBERMAILΣを導入する以前の問題点を教えてください。」

まず、検索性能が悪いなど、操作上の機能の低さが目立っていました。また、一番問題となっていたのが、メールボックスの容量が一人当たり100MBしかないという点でした。最近では、メールで画像、さらには動画を送受信する機会も増えてきました。こうした利用法は営業のシーンなどで多いのですが、これらのデータを扱っていると、メールボックスはすぐパンクしてしまいます。

そのため、不要なデータをわざわざ削除しなければならないなど、非常に管理に手間がかかっていました。メールは、情報をやり取りするだけのもので、情報を保存する場所としては、ほとんど機能を果たしていないという状況でした。

また、利用していたグループウェアは社内のイントラネットでしか接続できず、外部の端末からはアクセスできないという問題がありました。もちろん、今回システムをリプレースしたのは、ハードウェアの老朽化や、グループウェアのサポート自体が終了していたことなども要因に挙げられます。

**User Profile**

おいしさ、ふれあい。  
**プリマハム**

プリマハム株式会社  
<http://www.primaham.co.jp/>

本社：〒140-8529  
東京都品川区東品川4丁目12番2号  
品川シーサイドウエストタワー

TEL：03-6386-1800  
FAX：03-3916-3184  
設立：1951年6月  
従業員数：2433名  
代表取締役社長：松井 鉄也

■選定理由

老朽化、バージョンアップなど  
気にせず済む SaaS 型に

— CYBERMAILΣを選定した理由を教えてください。

今回の選定理由として SaaS 型というのは大きな要因です。SaaS 型であれば、ハードウェアの老朽化や一定期間を置いてのバージョンアップなどといった問題も気にせず済みます。

また、メールは絶対に止まってはいけないシステムです。当社では、得意先からの発注をメールで受けるなど、メールは業務のなかでも非常に重要な役割を担うシステムとして活用されています。そうしたことから、自社でサーバを保有し、つねにシステム障害に備える、または障害の発生時に緊急対応することは、私たち管理部門にとって、非常に大きな負担となっていました。そのため、メールシステムをアウトソースして管理を委ねたいというのが実情でした。

さらに CYBERMAILΣは、1ID あたりの金額が決まっており、非常に「分かりやすい」料金体系となっている点もポイントでした。最終的に、グループウェアは「ArielAirOne Enterprise」、メールシステムは「CYBERMAILΣ」という組み合わせにしました。

■導入の効果

スムーズな操作性に高い評価、  
特別な教育も不要

— 導入の評価ポイントをお聞かせください。

1. スムーズな導入

利用者はグループ会社含め 2400 人程度の規模ではありますが、リプレイスは 1 日で終了しました。アドレスの登録なども支障なく、問い合わせ等も想定以下と、非常にスムーズに切り替えられました。

2. 操作性の高さと便利な機能

直感的な操作性が高い評価を受けています。Ajax を実装しているため、ドロップ & ドラッグによるフォルダの移動なども、スムーズで使いやすいです。私が特に気に入っているのは、様々なフラッグを自由につけられる点。特に、重要度の高い、慎重対応しなくてはならないメールを受信一覧の「トップに配置」しておける機能ですね。

こうして目立つようにしておけば、うっかり対応を忘れるということもありません。以前は、重要度の高いメールは、わざわざフォルダを作って移動して保存しておくなど、とても手間がかかっていました。

3. 社員教育はマニュアルを配布しただけ  
インターフェイスは、本当に分かりやすく作り込んであるので、今回は社員にマニュアルを配布するだけで、特別に教育をするということもありませんでした。2004 年当時、環境を Web メールに切り替えたときはキャラバンを組んで社内を回ったほどですが、今回は問い合わせも十数件あっただけです。

4. メールボックスの大容量化、検索性の高さ  
そして、やはりなによりも改善された点は、メールボックスの大容量化です。動画系のデータなどの扱が増えている昨今、この環境は有り難いです。また、検索性能の高さも、大きな評価ポイントとなっています。

5. サーバ維持の継続的投資の抑制  
管理するうえで、人手が不要になったのは、非常に大きなメリットですね。そうした工数の削減はもちろんですが、システムをアウトソースすることで、これまで必要だった、サーバの陳腐化、

さらにはシステムのバージョンアップなどに費やす継続的な投資を抑制できたこともよかったですと思います。

6. 精度の高いアンチスパム機能  
リプレイス前は、多少スパムメールが来たりしていましたが、CYBERMAILΣに変えてからは、特にスパムで困っているといった話は聞いていません。CYBERMAILΣは、検知率 97%のアンチスパム機能を搭載していると聞いています。高い精度で、迷惑メールを隔離しているようです。なお、今回は不正アクセスの防止のために、オプションとして IP アクセス制御の機能をつけています。

7. 業務効率化に貢献する外部接続機能  
そして、今回 CYBERMAILΣにメールシステムをリプレイスした大きなメリットに、外部端末からの接続が可能になったことが挙げられます。今後、社員に貸与している携帯電話からメールが見られる環境に移行させます。メールをいつでもどこでも見られる環境が実現すれば、業務効率化に大きく貢献するものと期待しています。

— 本日はお忙しいところ、貴重なお話を誠にありがとうございました。

■メール環境構成図

